

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：大山崎町

プロジェクト名	次世代へつなぐ歴史と自然の保全・再生プロジェクト		実施期間	平成25年～平成27年	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規	継続	
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町は町域の西半分を占める天王山を有し、古来より数々の歴史が残り、南部を流れる桂川と相まって豊かな自然が残る。しかし、天王山の森林は放置・荒廃竹林が増えており、町民の理解とともに、「産・学・官」の連携のもと、森林の保全・再生に向けた継続的な取り組みが必要である。加えて、本町に残る史跡等の歴史的意義をふまえ、「歴史と自然」の共生を図り、貴重な財産を次世代へ繋いでいかなければならない。また、本町に隣接した長岡京市に開業する阪急電鉄京都線の新駅を拠点とした人の流れや、京都第二外環状道路の開通による京都府北部地域へのアクセスの活用により、近隣の市町との連携のもとに総合的な視点での広域観光振興の展開を図る必要がある。</p>									
プロジェクトの目的及び概要	<p>住民はもとより、町外の人々の参画により、本町のもつ貴重な歴史と自然財産を保全・再生し、次世代へ引き継ぐための継続した取り組みを行った。また、歴史や自然の保全・再生の理解を得るためにも、歴史と文化にふれあうことのできる拠点と観光スポットのネットワークづくりを進めた。</p>									
	総事業費（千円）	159,734	本年度事業費（千円）	11,934	交付金額（千円）	2,000				

プロジェクトを構成する事業の平成25年度事業実績(出来高数値等)

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村実施事業	観光関連施設整備事業	交付対象事業	天王山へのハイキングコースに設置した陶板による観光案内板「秀吉の道」の出発点となる部分の整備を実施。	【観光案内版周辺】 ・側溝設置（525千円） ・樹木（高木）整備を実施（1,155千円）
	観光マップ作成事業	交付対象事業	京都駅等の発地マップと本町での着地マップを作成。	発地マップ：1種類（77,000部）作成 着地マップ：2種類（68,000部）作成
	大山崎瓦窯跡史跡整備事業	交付対象事業	平成18年、22年に公有化した史跡地の保全と活用を目的とした史跡の整備。	整備の基礎資料を得るため、発掘調査を実施
	歴史資料館企画展開催事業	交付対象事業	町歴史資料館開館20周年記念企画展「戦国 京都周辺の城をめぐる」をテーマに展示や関連事業を開催。（10月26日～12月1日）	企画展来場者：述べ 1,976人
	天王山森林整備促進事業	関連事業	天王山中で伐採した不要竹を運搬するための作業道の基本設計（測量）。	作業道建設に係る基本測量615mの実施
成果指標①	成果指標の目標数値	観光マップの充実		成果指標の実績値（平成26年3月31日時点） 発地マップ：1種類（77,000部）作成 着地マップ：2種類（68,000部）作成
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	京都駅等の発地マップと本町での着地マップを作成し、京都総合観光案内所（京なび）等に配架することで、京都への観光客を大山崎町へ取り込むなど観光振興を図ることができる。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	天王山作業道整備目標 平成25年度：1,400m		成果指標の実績値（平成26年3月31日時点） 平成25年度：京都府整備分870m、町整備分615m（基本設計（測量））
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	京都府整備分870mは、竹林整備、広葉樹林整備が実施され、町整備分615mは、作業道建設の基本測量を実施した。このことにより、天王山周辺地区の森林整備が加速された。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：大山崎町

成果指標 ③	成果指標の目標数値	歴史資料館企画展入館者数 1,600人		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	歴史資料館企画展入館者数 1,976人	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	昨今の城ブームもあり、想定していた入館者数を大きく上回り、講演会等も盛況だった。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>近年実施されている京都府の「中世城館分布調査」の成果を加えたことで、府域のなかで城跡を比較していく視点が形成され、町内の天王山山頂にある山崎城跡のPRにも繋がった。</p> <p>また、天王山ハイキング道沿線の放置竹林を整備し、登山客に美しい竹林を見ながら心地よくハイキングを楽しんでもらえるようになった。更に、企業の森林整備の参画により、「筍掘り」及び「へし折り」の取り組みを実施し、竹林を雑木林へと変える作業を行うことができた。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	子どもと歴史クラブ、夏休み子ども歴史教室など、小中学校の事業でも城跡を啓発する事業を行い、地域学習に積極的に繋がった。				
	府と市町村等との連携に資する成果	京都府域の各自治体の城跡も紹介し、その連携を深めた。また、比較検討の中で、山崎城跡を位置づけることができた。また、リレーウォークでは、長岡京市とも連携し、山崎城跡と同時代の勝龍寺城跡の見学も加え、理解を深めた。他にも、天王山周辺森林整備推進協議会（府・町の協議会）で竹林整備の取り組みを実施した。				
	住民の自治意識を高める成果	地元文化財に対する理解を深め、地域の歴史と文化に対する愛着を啓発に繋げることができた。また、町内の小学校との連携により、どんぐりをポットで育て、講義を聴いて天王山に植樹することで、天王山の現状を知るとともに、自分たちが住む町に愛着を持ってもらうきっかけづくりができた。				
	広域的波及成果	歴史街道推進協議会の西国街道リレーウォークとも連携し、企画展を開催することで、来館者の増に繋げることができた。また、サントリー・KDDIという企業の取り組みにより、天王山森林整備活動に広域的な参加が得られた。				
	その他の成果	放置竹林を減らすための、筍掘イベントを実施し、天王山の環境改善を観光につなげることができた。				

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。